

北朝鮮の核実験について（声明）

平成25年2月14日
原子力委員会

1. 2013年2月12日、北朝鮮が3回目の地下核実験を実施した旨発表した。これは、国際平和と安全保障に対する明白な脅威であると同時に、核軍縮と核不拡散の取組を推進する国際社会に対する挑戦であり、本委員会は強く非難する。
2. 国際社会が国民の福祉の向上を目指して原子力の研究、開発及び利用を推進するためには、核軍縮の推進と国際的な核不拡散体制の維持・強化が必要不可欠である。この認識に基づき、本委員会は、これまで、国際連合、国際原子力機関等におけるそのための取組を支持するとともに、我が国が率先してその推進の一翼を担うことを求めてきている。
3. 今回、国際社会が強く自制を求めたにもかかわらず、北朝鮮が核実験を強行したことは、包括的核実験禁止条約の成立を目指す取組を含む核軍縮・核不拡散体制を強化する取組を進める諸国民に打撃を与え、核兵器の究極的廃絶を希求する我が国国民の強い願いを無視する行為であり、断じて許されない。本委員会は、北朝鮮に対して、核兵器開発計画を即時かつ全面的に放棄し、速やかに国際核不拡散体制に復帰することを強く求める。